

2限目 お手軽! ラプターライナーのDIY施工方法

塗装方法はスプレーガン&ローラーの2パターン!!

大量に塗装するならスプレーガン!

1度に大量に塗装する場合は、スプレーガンを利用するのがおすすめ。エアコンプレッサーなど、相應の設備が必要になるが短時間に一気に仕上げられるので作業効率もいい。エア圧は2.76-4.82BAR (40-70PSI) が推奨。さらに、スプレーガンを利用する特徴として、専用ノズルや対象物との距離感で結晶塗装を細かくしたり、荒くしたりと変化をつけられるので、好みの塗装面を手に入れやすい。重ね塗りする場合は、1回目の塗装から約1時間の間隔を明けてから行う。



専用ノズルで仕上がりを調整!

スクリー式の専用ノズルを絞めてノズルの全長を短く調整すれば塗装面は細かく、逆回しで全長を長くすれば粗い表面を得られる。細かければ密度の高い結晶塗装で上品さが漂い、粗めのフィニッシュはよりワイルドな印象を手に入れられるぞ。



物理的距離で塗装面に変化をつける

対象物との物理的距離をとることで、仕上がりに変化を与えることも可能だ。対象物に近づければ細かい結晶塗装に、対象物から距離をとれば粗めの仕上がりと変化する。ノズル調整との組み合わせで、自分だけの最適な塗装面を手に入れよう!

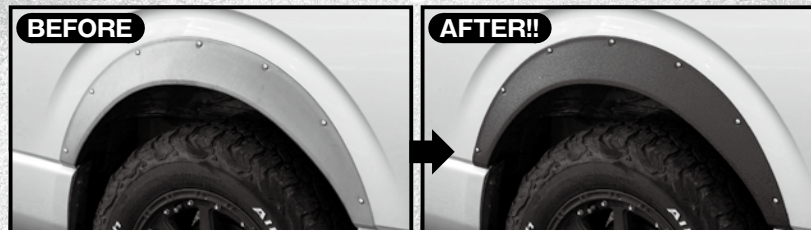


少量&DIYならローラーがおすすめ!

市販のローラーで塗装もできるのが、ラプターライナーのいいところ。塗りムラが気になることが、表面がザラザラした結晶塗装であることと、厚塗りを前提としているため、塗りムラはほぼないに等しい。スプレーガンに比べて出費も抑えられ、ハンドメイドを楽しむにはもってこいの塗装方法だ。塗装面の目は使用するローラーで細かい、粗いなどが決まるため、好みの表現ができるローラーを探してみよう。重ね塗りたい場合は、1時間待って硬化させてから行うべし。



ラプターライナーでワイルド&引き締め効果をGET!!



パーツにラプターライナーの施工が終わったら、2~3日の乾燥期間をとろう。クルマの荷台など、ハードユースする個所に塗装した場合は長めの5~7日間、しっかり乾燥させるのがベターだ。今回塗った前後のフェンダーを装着すると、足元にワイルドな印象を与え、全体のスタイリングを引き締めてくれた。ラプターライナーはお手軽なイメージにもってこいの塗料といえよう。

RAPTOR LINERの伝道師! シーザー

〒744-0071 山口県下松市清瀬町3丁目18-10
☎0833-45-0321 www.caesar.ne.jp

山口県にショップを構えるシーザーが、ラプターライナーの日本初の取扱店。ラプターライナーの販売や塗装方法について、より詳しく知りたい人はホームページで検索するか、お気軽に問い合わせよう!



施工対象はこのクルマ!

ヤレヤレ~

お仕事車として酷使されたⅣ型ハイエースは前後フェンダーが紫外線やキズつきによってヤレヤレな状態に。フロントマスクを新調したのに、このままでは格好がつかないということで、仕事現場でのキズにも強いラプターライナーを施工することに。スプレーガン&ローラーでの塗装方法を紹介します!

①塗装面の脱脂は入念に

ペイントする前に対象物の下準備から取り掛かる。今回塗装するフェンダーの脱脂を入念に行い、表面の汚れや油分をきれいさっぱり。市販の脱脂スプレーやパーツクリーナーで対応可能だ。



②足付けのプライマーも重要!

次はプライマーの塗布で、塗料のノリをよくする。こちらも市販のプライマーで十分効果を発揮してくれる。塗料を付着させたくない箇所があれば、この段階でマスキングしておこう。これで、対象物の下準備は完了。



③硬化剤とラプターライナーを混ぜる!

2液性のラプターライナーは、硬化剤を入れたら塗料の硬化が始まる。混合比は3:1なので、使う量に合わせて調節しよう。外気温20℃での乾燥時間は約1時間なので、硬化剤を入れたら手際よく塗装までの一連の作業をこなす必要がある!



④Let' sシェイク!!

ラプターライナーと硬化剤を均一に混ぜるために、2分間を目安にボトルを思い切りシェイク! ローラー(市販のものでOK!!)で施工する場合は、パレットにラプターライナーを出して、3:1の割合で硬化剤を混ぜる。その場合は塗装に使うローラーで塗料をしっかり混ぜる。さあ、次から塗装開始!



お手軽ペイントで質実剛健なボディをGET!!

最新塗料 RAPTOR LINER

●協力/シーザー ☎0833-45-0321 www.caesar.ne.jp
PHOTO/西野キヨシ

DIY施工教室

前号で最新塗料・ラプターライナーの特徴について紹介した。

ワイルドなイメージを愛車に与えるにはもってこいの革新的塗料だ。

今号では、気になるその塗装方法について紐解いていこう!



1限目 ラプターライナーとは?

ラプターライナー 1ℓキット

価格 9800円

キット内容 ラプターライナー750ml、硬化剤250ml

ラプターライナー本体と硬化剤がセットになっており、2種を混ぜてから使用する。その名の通り塗料を硬化させる役割の硬化剤を入れるため、一気に1ℓを使い切らない場合はパレットなどに小分けにして利用するべし。塗装方法は専用のスプレーガンもしくは市販のローラーを用いて行うぞ。スプレーガンの場合は、専用ノズル×2、スプレーガン×1がセットのスターターキット (5400円) が必要となり、交換ノズル×6がセットとなる交換ボディーツ (5400円) も用意。



好みのカラーを選べるキットも

色彩の配合が可能なチンタブルタイプ (1ℓ/1万2800円) は、ラプターライナー+硬化剤+カラー塗料を混ぜて自由な色合いを再現できる優れものだ。専用のカラー塗料もあるが、好みの塗料を混ぜてもOK! ラプターライナー+硬化剤に対して10対1の混合比でカラー塗料を入れるのが1つの目安だが、その他の混合比で独自の表現を狙うのもアリだ。

次ページからは、実際の施工方法を紹介しますが、その手順は超シンプル&簡単。ぜひ愛車のブラッシュアップにラプターライナー塗装にチャレンジしてみるのはいかがだろうか?

キズに強い結晶塗装のような塗装面が、防傷、防錆、耐紫外線効果などを発揮し、愛車をさまざまなトラブルから守ってくれる最新塗料・ラプターライナー。ゴツゴツ感のある塗装面はワイルドな印象づくりにもひと役買うのでドレスアップにも効果アリ絶大だ。その実用性はもとより、より注目したいのは、手軽にDIY塗装が可能である点! 結晶塗装のためにもともと塗りムラが少なく、塗装方法は専用ノズルを利用したスプレーガン塗装か、市販のローラーで塗る、ローラー塗装の2種類から選べる。スプレーガンでの塗装となるとコンプレッサーなどが必要ではあるが、特殊な設備や専門的な知識を持たずして、初心者でも手軽にペイントを楽しめてしまうのだ。カラーの基本色はブラックだが、好みのカラーに染色して使うチンタブルタイプもラインナップしているため、表現の幅も無限大だ。

超お手軽DIY塗装で
タフ&ワイルドボディに!

塗装方法は2種!
DIYでお手軽ペイント